

# 小学校・特別支援学校小学部会①

## 郷土のよさを生かし，豊かな人間力をはぐくむ道德教育のあり方

神石高原町立豊松小学校

### 1 研究の特色

子どもたちは，郷土ではぐくまれたひと・もの・ことにふれる体験を通してそこに住むことへの喜びや愛着を感じ，地域社会の一員としての自覚や郷土を大切に思う力が培われてくる。ここ豊松は，郷土を愛し，誇りをもつ人が様々な場面で活躍し，すばらしい伝統や文化が強く根付いているところである。家庭や地域との連携をより密にし，郷土のひと・もの・ことにふれる体験をもとに，地域の素材を教材化して授業を展開していくことで，ふるさとへの愛着を基盤とした豊かな人間力を身に付けた子どもが育つと考える。

#### (1) 考え合う力を育てる道德授業の工夫

学習指導過程における各段階の指導を明確にし，授業展開における指導方法の工夫・留意点を全職員で意識統一して授業研究を進めている。

① 資料分析をもとにした発問構成の工夫  
授業研究における事前研修は，2回行っている。1回目は，学習指導案を作成・検討する前に資料分析図を作成して，道德的価値の整理，登場人物の行動や心情の変化を分析し，どこでどのような発問をするか，考え合う場はどこにするかなどを検討する。これを受けて，2回目の事前研修で学習指導案検討と模擬授業を行い，発問構成の工夫について協議している。

#### ② 考え合う場の設定

道德の授業の中で，まずは，児童が自分の考えをもつ，次に，資料中の登場人物や友だちなど自分以外の考えに出会う，そして，自分の考えと比べ新たな考えをもつという考え合う場を大切に，価値観を高めさせるようにしている。この考え合う場を充実したものにするために，意見のつながりを重視し，切り返し発問や補助発問によって思考を深めさせるようにしている。

#### ③ 構造的な板書の工夫

学習の足跡となる板書は，登場人物や児童の思いを視覚的にとらえることができるように構造的にまとめるようにしている。児童の発言をそのまま書くのではなく，整理・分類して書いたり，主人公の心情を矢印や高低で表したりしている。

道德の時間の学習指導過程

各段階の指導	児童の意識
導入 主題に対する興味・関心を高め，ねらいとする道德的価値への動機付けを図る	今までの価値観
展開前段 共通の資料をもとに，ねらいとする道德的価値について把握・追究・自覚させる 考え合う場の設定	資料中の登場人物との出会い より高められた価値観との出会い
展開後段 ねらいとする道德的価値を自分自身の問題として考えさせる	新たに見えてきた自分との出会い
結末 ねらいとする道德的価値をまとめたり温めたりして今後の発展につなぐ	道德的実践力



考え合う場の授業風景



構造的な板書

(2) 児童の心にひびく地域教材の開発

道徳の時間の目標を達成するには、共感や感動が得られたり、人の生き方のすばらしさを感じたりできる児童の心にひびく資料と出会わせることが大切である。本校では、地域教材は、児童にとって身近で、地域のよさやすばらしさを感じさせるとともに、郷土への愛着も育てることができるものと考え、その開発を進めている。

(3) 各教科等における道徳教育との関連的な指導の工夫

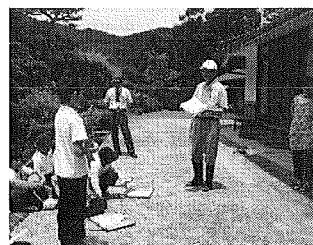
道徳性を育む場を総合的にとらえ、児童の道徳的価値の自覚を促すため、期待する児童の姿を明確にし、道徳の時間と教科等を有機的に関連付けた。

① 体験活動を活かしたプログラム

郷土「豊松」のよさ生かし、家庭・地域と連携した豊かな体験活動を組み入れることで、連続性のある道徳教育となり、地域への愛着も育てられると考えた。

② 児童の意識をつなぐ工夫

2～3か月に渡って行うプログラム学習を実施する際には、児童が継続して課題意識をもてるようにワークシートを活用している。



地域へ出かけての体験学習

2 実践事例

(1) 考え合う授業づくり

- 1 学年 第6学年
- 2 主題名 【自然を大切に 3-(2) 自然愛護・環境保全】
- 3 資料名 「モリアオガエルを守る」(自作資料)
- 4 ねらい 自然を愛し、モリアオガエルを守る活動に努力された井上未枝さんの思いや生き方を考えることを通して、自然の美しさや壊れやすさに気づき、自分たちの地域の自然環境を守ろうとする態度を養う。
- 5 資料の概要 上豊松在住だった井上未枝さんが、自分の命が残り少ないと知りながらもモリアオガエルを守る活動に一生懸命取り組み、自然の美しさや保護の必要性を子どもたちにも伝えていこうとした。その思いが地域の活動に広がっていったという内容である。

6 授業内容

考え合う授業づくりとして、次のように各段階の指導を工夫した。

導入では、モリアオガエルについて知っていることを出し合い、第5学年の時の体験学習や井上さんについて想起させた。

展開前段では、井上さんがモリアオガエルの卵の数を毎日日記に書いたり、ヘビの駆除を行ったりして一生懸命保護しようとしていた気持ちをおさえた。そして、「自分の命が残り少ないと知った井上さんが、モリアオガエルを守ることを『自分のつとめ』として必死になって続けたのはどんな思いからか」という発問によって、思考を深めていった。児童は、初めは「モリアオガエルのことをみんなに知って欲しかった」「自分が守らなくてはいけないと感じた」と答えたが、「なぜ子どもたちに見学を進めたのか、知ってほしだけだったのか、何か伝えたいことがあったのでは」と補助発問をしながら意見交流をする中で、「自分がいなくなってもだれかに守り続けてほしい」「いつまでも自然豊かな地域であってほしい」「モリアオガエルを守ることは、自分たちの地域の自然を守ることだ」と、自然保護の必要性を感じる意見に変わっていった。

展開後段では、井上さんの思いを受けて、『自分たちのつとめ』は何かについて話し合った。

終末では、豊松の四季の自然を撮影したDVD「きらり豊松」の一部を視聴し、心のノートP.71「自然はこわれたら簡単にはもとにもどらない」を読んだ。

(2) 地域教材の作成

① 地域の人材活用

豊松地域には、伝統文化を継承している人、野菜作りに携わっている人、自然環境を守る活動を行っている人、地域の歴史に詳しい人など様々な方面で活躍している人がたくさんいる。その人達の協力を得て、地域教材を開発している。

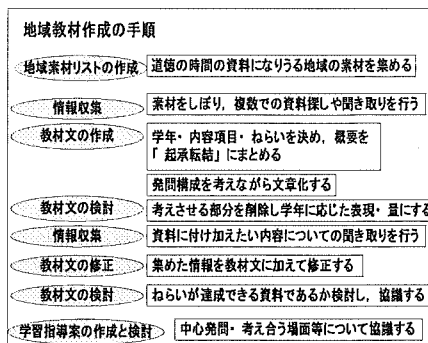
② 地域のひと・もの・ことに関する資料収集と教材作成

ア 道徳の時間の資料になりうる地域の素材を集め、地域素材リストを作成した。  
 イ その中から3つの素材にしぼり、3~4人のチームを組んで地域の方や関係機関への聞き取りや取材を行った。その際には、取組の趣旨を説明して、ゲストティーチャーとして学校へ来てもらうことや児童に体験活動をさせてもらいたいことなどの協力もお願いした。

ウ 情報収集した内容から対象学年・内容項目・ねらいを決め、資料の概要を起承転結にまとめて、どの場面でどんな発問をするか考えながら文章にした。

エ 文章化した資料をみんなで読み合い、考えさせたい場面での答えとなる文章を削除したり、対象学年に応じた表現や文章量にしたりした。教材文の作成過程では、ねらいに迫るために、より詳しい情報や別の視点の情報などが必要な場合もあり、その都度、関係者に聞き取りの協力を依頼し、得た情報をもとに推敲を重ねた。  
 オ 考え合う場の設定や発問の工夫などを検討し、学習指導案を作成した。

### 地域教材の開発の手順



〈昨年度作成した地域教材〉

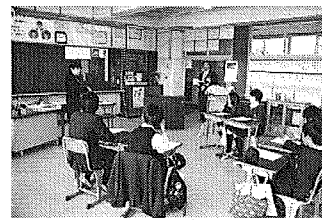
- 第3学年 「日本一のトマトを」 1ー(2) 勤勉・努力
- 第5学年 「豊松一のこんにやく栽培農家」 1ー(2) 希望・勇気・努力
- 第6学年 「モリアオガエルを守る」 3ー(2) 自然愛・環境保全



トマトハウスの取材



こんにやく農家の聞き取り



「モリアオガエルを守る」の授業

今年度、さらに3つの地域教材を作成中であり、全学年に1つずつ地域教材を年間指導計画に位置付けるよう取り組んでいる。

### (3) 道徳学習プログラム

〇期待する児童の姿 地域の自然や人と意欲的に関わりながら、地域の自然環境を守り、地域に親しみを感ずる子

教科・特別活動・総合的な学習の時間・外国語活動	道徳の時間	学校行事・常時活動 家庭・地域との連携	児童の意欲の流れ
9月 ①理科 「科学自由研究」 ・生活様式が植物の成長に及ぼす影響について実験を通して考え、自分たちでできる観察記録を考える。	①「国久島の森で」 ②(2)自然愛 ・自然の偉大さを感じ、自然を大切にしようとする態度を育てる。	①生活様式は植物の成長を助けるものがあるんだ。 ②何千年も生きている木もあるんだ。自然ってすごいな。	①生活様式は植物の成長を助けるものがあるんだ。 ②何千年も生きている木もあるんだ。自然ってすごいな。
10月 ③国語 「未来社会を考える」 ・自分達が大人になった時の社会について自然環境問題などいろいろな課題でパネルディスカッションをすることが出来る。	③「モリアオガエルを守る」 3ー(2) 自然愛 ・モリアオガエルを守る活動から自然環境を守ろうとする態度を育てる。	④紅葉した山や校庭の木がきれいだな。この場面を絵として大事に残そう。	④公害やごみのない未来にしたいな。
11月 ④国語 「思い出の秋倉」 ・秋の紅葉の楽しさを感じながら秋倉を入れた風景画を描くことができる。	⑤「モリアオガエルを守る」 4ー(1) 自然愛 ・モリアオガエルを守る活動から自然環境を守ろうとする態度を育てる。	⑤「いもほり体験」 ・いもほり体験を通して収穫の喜びを感じることが出来る。 ⑥地域の自然や自然の恵みに感謝してたくさんいもを収穫しよう。 ⑦豊松地域のためにいろいろな活動をしているんだな。豊松には素晴らしい人や自然がたくさんあるんだな。	⑤自然を守るために努力している人がいる。私達も豊松地域の自然を大切にしよう。 ⑥地域の自然や自然の恵みに感謝してたくさんいもを収穫しよう。 ⑦豊松地域のためにいろいろな活動をしているんだな。豊松には素晴らしい人や自然がたくさんあるんだな。
①「未来百歳」 4ー(1) 自然愛 ・郷土を守るために戻った先人の努力に気づき、郷土を大切にしようとする心構えを育てる。			

地域の自然や人と意欲的に関わりながら、地域の自然環境を守り、地域に親しみを感ずる子

### ～地域の人や自然について考えよう～

6年 名前

理科「科学自由研究」  
 学習した内容  
 深い水がど  
 生活様式で植物の成長を助けるものがあるんだ。  
 学習を終えて  
 うつろは「荒ぶるはら」香ひんき使、に方がいし。

道徳「国久島の森で」  
 学習した内容  
 国久島の森は、何千年も生きている。山は思ふやうにまわっている。  
 学習を終えて  
 木を大切にしよう。何千年も生きている。大切にしよう。

国語「未来社会を考える」  
 学習した内容  
 未来の社会は大変にしたい。公害やごみのない未来にしたい。  
 学習を終えて  
 公害やごみのない未来にしたい。公害やごみのない未来にしたい。

国語「思い出の秋倉」  
 学習した内容  
 秋の紅葉の楽しさを感じながら秋倉を入れた風景画を描くことができる。  
 学習を終えて  
 秋の紅葉の楽しさを感じながら秋倉を入れた風景画を描くことができる。

道徳「モリアオガエルを守る」  
 学習した内容  
 国久島の森は、何千年も生きている。山は思ふやうにまわっている。  
 学習を終えて  
 木を大切にしよう。何千年も生きている。大切にしよう。

学校行事「いもほり体験」  
 学習した内容  
 いもほり体験を通して収穫の喜びを感じることが出来る。  
 学習を終えて  
 いもほり体験を通して収穫の喜びを感じることが出来る。

道徳「未来百歳」  
 学習した内容  
 郷土を守るために戻った先人の努力に気づき、郷土を大切にしようとする心構えを育てる。  
 学習を終えて  
 郷土を守るために戻った先人の努力に気づき、郷土を大切にしようとする心構えを育てる。

### 3 研究の評価

#### (1) 児童の心の育ちを見取る指標

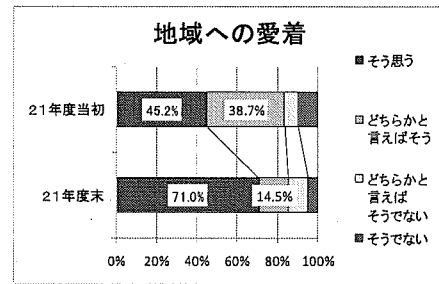
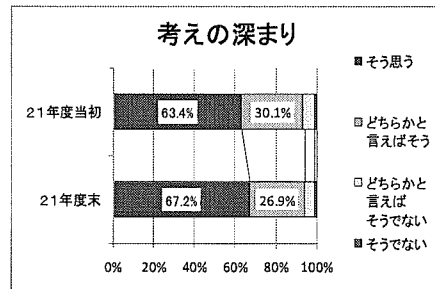
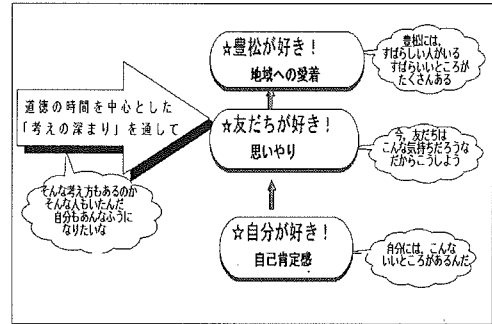
一 道徳の時間を中心として

「考え合う力を育てる授業づくり」「児童の心にひびく地域教材の開発」「各教科等における道徳教育との関連的な指導の工夫」の3つの実践研究を通して、児童の心の育ちを見取る指標（自己肯定感、思いやり、地域への愛着、考えの深まり）を決め、検証を行っている。

#### ① 意識調査による肯定的評価の割合

昨年度の実践では、考えの深まり、地域への愛着についての肯定的評価が大きく増加し、思いやりについては少しの増加だった。考え合う授業づくりや地域教材による授業実践を進めたことの成果と考えられる。しかし、自己肯定感については減少した。そのため今年度は、授業づくりにおいては、主に中心発問をさらに研究して、児童がお互いの思いを出し合って考え合い、それぞれのよさを認めたり、よりよい生き方を考えたりする授業にしていくことで、自分のよさを感じられるように取り組んでいる。また、体験活動や行事等においては、ねらいをもたせ、その振り返りや評価をすることで、達成感や満足感を味わわせるように取り組んでいる。

心の育ちの構造



#### ② ワークシート、発言記録を活用した「道徳の時間」のねらいを達成している児童の割合

授業中の発言記録やワークシートに書いた「今日の学習で新たに気付いたことや心に残っていること」の内容から本時のねらいに到達している児童の割合を出している。第6学年の実践では、今年度1学期に76.6%の児童がねらいに到達していた。考え合いによる意識の変容があったためと思われる。

#### (2) 児童の心の育ちを見取る指標

一 あらゆる教育活動を通して

また、児童の心の育ちを見取る際には、児童の一時期の様子だけで即断することなく、継続的に観察するなどして、長期的な視点に立った評価を心掛けることに留意している。

#### ① 日記、常時活動、児童会活動などで見られる道徳的な発言や行動の見取り

道徳の時間に高められた価値観が、道徳的実践力となって生活の場に生かされているかを見取る方法の一つとして全職員で、児童の道徳的行動や発言を交流し合い、記録することで心の育ちを見取っている。

〈児童の日記から〉

#### 地区民運動会

5月16日に小学校のグラウンドで地区民運動会がありました。私は白チームでした。

開会式をして、いろいろな競技が始まりました。地区民運動会なので小学校の競技は少ないけれど、私はがんばろうと思いました。

(中略)

そして、プログラムが全部終了しました。運動会は、一人より、小学校だけより、地域の人みんなが協力してやる方が楽しいんだなと思いました。